



The Philadelphia Orchestra
Yannick Nézet-Séguin Music Director

指揮: ヤニック・ネゼ=セガン
Yannick Nézet-Séguin, Conductor



2014年
6/2(月)19:00
サントリーホール
Monday, June 2, 2014 at 7 p.m.
Suntory Hall

チャイコフスキー:
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op. 35
(ヴァイオリン: 諏訪内 晶子)
交響曲第6番 口短調 op. 74「悲愴」
Tchaikovsky:
Violin Concerto in D major op. 35
Symphony No.6 in B minor op. 74 "Pathétique"

2014年
6/3(火)19:00
サントリーホール
Tuesday, June 3, 2014 at 7 p.m.
Suntory Hall

モーツァルト:
交響曲第41番 八長調 K. 551「ジュピター」
Mozart: Symphony No. 41 in C major K. 551 "Jupiter"
マーラー:
交響曲第1番 ニ長調「巨人」
Mahler: Symphony No. 1 in D major

[両日共]
S¥30,000 A¥25,000 B¥20,000
C¥15,000 D¥10,000 プラチナ券¥35,000



©Kiyotaka Saito

ヴァイオリン: 諏訪内晶子 [6/2]
Akiko Suwanai, Violin



豊穡な色彩とドラマの結合—— ネゼ=セガン&フィラデルフィア管

今をときめくライジング・サン、俊英ヤニック・ネゼ=セガンが栄えあるフィラデルフィア管弦楽団の音楽監督に就任! というニュースは世界中の音楽ファンを驚かせました。これで北米は、ロザンジェルス・フィルのドゥダメル、ボストン響のネルソンスらと共に、次世代の巨匠指揮者候補たちにとっての一大エリアになったのです。

フランス系カナダ人のネゼ=セガンは、シンフォニーとオペラの両面で20代からメキメキと指揮界に台頭し、例えばメトロポリタン・オペラ「METライブ・ビューイング」での「カルメン」で、そのエネルギーに満ち溢れた指揮ぶりをご覧になった方も多いでしょう(DVDでもリリース)。ガランチャ、アラニーヤら名歌手が歌うこのオペラに目の覚めるような活気と、絶えて接することのなかったラテン的な澄んだ色彩感をふんだんに注ぎ、往年の名匠クリュイタンスを思わせたものです。コンサートでも、2013年のロッテルダム・フィルとの来日公演でのラフマニノフ「第2交響曲」や、同じ頃CDリリースされたチャイコフスキー「悲愴」などで、やはり溢れる色彩感としなやかで強力なオーケストラ・コントロール、そして(これはオペラでももちろん)雄弁な「ドラマ」を生み出していました。ネゼ=セガンの一番の急所は、楽曲からこうした自然な「ドラマ」を引き出し、そこにあります。

そしてフィラデルフィア管弦楽団については多くを語るまでもないでしょう。シカゴ響やクリーヴランド管と共にアメリカ最高のオーケストラであり、特に「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」として世界中から愛される、色彩的で甘く、柔らかく広がる豊穡な音は一度聴いたら忘れられません。その点はヨーロッパにおけるロイヤル・コンセルトヘボウ管と双壁。この伝統の音は今、若きネゼ=セガンに託されました。ワシントン・ポスト紙は早くも「この楽団をこれほど素晴らしく鳴らした者はいない」と書いているほど。偉大なものが受け継がれていく...これをぜひ、自分の耳で確かめてみたいものです。

フィラデルフィア管弦楽団 The Philadelphia Orchestra



©Chris Lee

1900年創設。世界有数のオーケストラとして、ストコフスキー、オーマンディ、ムーティ、サヴァリッシュ、エッシェンバッハ、デュトワらが音楽監督や首席指揮者を務め、「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」と賞賛される、世に2つとない豊麗な音色を築き上げた。その偉大な伝統は2012年、若きネゼ=セガンに受け継がれる。1936年にアメリカの楽団として初めてヨーロッパ・ツアーを敢行。ラフマニノフ「交響的舞曲」の世界初演、マラー「第8交響曲」やストラヴィンスキー「春の祭典」のアメリカ初演を行ったオーケストラでもある。

ヤニック・ネゼ=セガン (指揮) Yannick Nézet-Séguin, Conductor



©Chris Lee

モントリオール出身。同地の音楽院で学んだ後ジュリーニに師事、2000年のモントリオール・メトロポリタン管を皮切りに、08年からロッテルダム・フィルの音楽監督などを務め、12年にはフィラデルフィア管の音楽監督に就任。NYタイムズ紙は「同団をこれほど素晴らしく鳴らした者はいない」と絶賛した。ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ボストン響、シュターツカペレ・ドレスデン、スカラ座、METなどにも客演し、この世代屈指の指揮者。録音でも12年にドイツ・グラモフォンと契約。

諏訪内晶子 (ヴァイオリン) Akiko Suwanai, Violin



©Kiyotaka Saito

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、メータ、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。国際音楽祭にも多数出演している。2012年には日本で4年ぶりとなるリサイタル・ツアーを行って大成功を収めたほか、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門で審査員を務めた。昨年、「国際音楽祭NIPPON」を企画し、芸術監督を務めている。

ヤニック・ネゼ=セガン Yannick Nézet-Séguin

チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮：ヤニック・ネゼ=セガン

ロマンス 作品6、作品73から
信じるな、わが友よ / 語るな、おおわが友
なぜ? / ただあこがれを知る者だけが
夜 / 太陽は沈んだ / 再び、前のように、ただひとり

リサ・パティアシュヴィリ (ヴァイオリン)
ヤニック・ネゼ=セガン (ピアノ)
録音：2012年10月 ロッテルダム《悲愴》
11月 ヒルフェルスム(ロマンス)
SHM-CD●UCCG-1609 定価 ¥2,667(税抜価格)+税



発売・販売元：ユニバーサル ミュージック

諏訪内晶子 Akiko Suwanai

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

諏訪内晶子 (ヴァイオリン)
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
指揮：グラディー・ミル・アシュケナージ
録音：2000年9月 プラハ
CD●UCCD-50004 定価 ¥1,714(税抜価格)+税



ユニバーサル ミュージックのホームページで商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く) <http://www.universal-music.co.jp/classics/>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 218-272)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

[twitter @kajimoto_news](https://twitter.com/kajimoto_news)

<http://www.facebook.com/kajimotomusic>

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 1/26(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 1/17(金) 12:00~1/21(火) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969 [10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。